

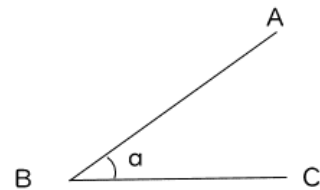
<ポイント> 角の基本

○角とは、1点から2本の半直線をのばしてできる形のこと。はじめの1点の部分の頂点、2本の半直線のことを辺という。

頂点Bの部分にある角のことを、角ABCとする。

(角CBAとしてもいい)記号で表すと $\angle ABC$

(または $\angle CBA$)となる。また、 $\angle B$ 、 $\angle a$ と表すこともある。

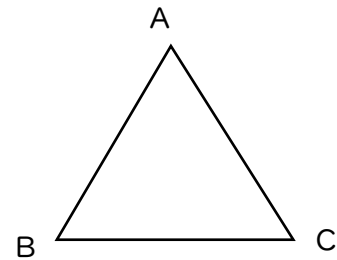


○三角形とは、3本の線分で作られた図形のこと。

右のような三角形を三角形ABCといい、記号で表すと

$\triangle ABC$ ($\triangle BCA$ 、 $\triangle ACB$ なども可)となる。

三角形となる条件は以下の3通りである。



- ① 3つの辺の長さが決まっている
- ② 2つの辺とその間の角の大きさが決まっている
- ③ 1つの辺とその両端の角の大きさが決まっている

【1】 次の三角形について、以下の問いに答えなさい。

(1) AB が 5cm であることを式で表しなさい。($AB=5$)

(2) AC と BC が等しいことを式で表しなさい。

($AC=BC$)

(3) $\angle m$ を ABC の記号を使って表しなさい。($\angle ACB$ または $\angle BCA$)

